

企業版ふるさと納税 寄附活用メニュー



事業名

鈴鹿から世界へ 羽ばたけアスリート 陸上競技場の環境整備プロジェクト

子どもが輝き 人と文化を育むまち事業

2026
NEW!

事業期間（予定）

2027.4～2028.3

事業費総額（予定）
（又は寄附受入可能額）

2億2,000万円

現状・課題

AGF鈴鹿陸上競技場は、東京オリンピック日本代表の衛藤昂選手（走り高跳び）や川端魁人選手（4×400mリレー）、パラリンピック5回出場し計6個のメダルを獲得した伊藤智也選手（車いす陸上）など、世界に挑むトップアスリートが練習を重ねた「夢の出発点」です。

この競技場は、2008年から日本陸上競技連盟「第3種公認陸上競技場」として認定されており、地域の子どもの公式記録樹立や夢への挑戦を支え続けてきました。しかし、2028年3月の公認更新に向けた改修整備は、物価高騰などの影響を受け、資金確保が大きな課題となっています。

事業内容・効果

【概要】

同競技場の「第3種公認」の認定更新に向けた環境整備を実施し、公認の継続を目指します。

【主な取組】

- 2026年実施の公認継続事前調査に基づく必要箇所の改修
- 記録会に必要な物品の調達

【期待する効果】

大会や記録会を安定的に開催することで、交流人口の拡大や地域活性化につなげます。また、子どもたちが地元で夢を追い続けられる環境を守り、スポーツを通じた持続可能なまちづくりを推進します。



フ
ィ
ッ
ベ
ネ

本市ウェブサイトのうち施設の紹介のページ上に企業名、ロゴなどを掲載します。

本事業に関する
お問い合わせ

文化スポーツ部 スポーツ課
☎ 059-382-9029
✉ supotsu@city.suzuka.lg.jp